

令和6年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	58	学校名	掛川工業高等学校	記載者	中村 博志
------	----	-----	----------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
	新学習指導要領に即し、 新工学科において生徒の基礎的な学力及び技術・技能の定着を図り学び続ける人の基盤作り	<ul style="list-style-type: none"> 基礎力診断テストの学年の60%以上が学習到達度C1以上。 「授業のある日は授業以外で1時間以上学習に取り組んでいる」と答える生徒80%以上。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 「家にいると学習意欲がわからない」や「勉強する習慣がない」の理由がありました。生徒の80%以上に期待するのは難しいと思います。課題を与えて習慣づけができればと思います。 家庭学習の定着には、ある程度の宿題量も必要。
		<ul style="list-style-type: none"> 観点別評価のルーブリックを踏まえた授業及び評価を実践している教員100%。 「各授業の目標と自身の取り組む課題がはっきりしている」と答える生徒80%以上。 自身が取得可能な資格・検定について理解している生徒100%。 卒業時の生徒の国家資格・試験における取得・合格者率60%以上。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 卒業時の生徒の国家資格・試験等の取得・合格者率60%以上とありますが、資格取得の必要性を発信して、挑戦者の数を目標設定に加えればと思います。 国家資格・試験等の合格者数で判断すべきと思います。
	ICTの活用と「主体的・対話的で深い学び」の充実	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した授業に取り組んでいる教員100%。 一人一台端末の効果的な活用に資する授業公開を1回以上実施。 授業を参観した教員100%。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 社会においては、ICTの活用は100%必要な時代と思います。教員のICT活用率100%に期待します。 ICTの活用の具体例を示してほしい。

様式第5号

		<ul style="list-style-type: none"> ・授業以外で生徒が議論、協力、発信する場面を設定した教員80%以上。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の課題発表会を見学しました。素晴らしかったです。多くの人に向けて話す能力が求められると思います。
計画的なキャリア啓発と個に応じた適切な進路指導の推進		<ul style="list-style-type: none"> ・学科・学年・分掌が連携し3年間を見通したキャリア啓発活動を企画・実践する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・大変重要な取組みだと思います。進路指導の具体的な成果や状況を知りたいです。
		<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポート、ポートフォリオを有効活用し、生徒の希望や適性に応じた進路指導を推進する。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートやポートフォリオなどの活用例を示してほしい。
豊かな人間性を持ち地域や産業界でリーダーとなる生徒の育成		<ul style="list-style-type: none"> ・準備を終えて授業・実習に臨む生徒100%。 ・「挨拶や身だしなみの指導に納得できる」と答える生徒・保護者80%以上。 ・自身を守るべきルールについて考えた生徒80%以上。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーとなる生徒の育成については、成果目標の達成と同時に課題発表会などを通して、自分の意見を発表できる機会を増やし、達成感を体験させることが大切だと思います。 ・「掛工に入学してよかった」の回答は100%を目指したい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「学校生活が充実している」と答える生徒80%以上。 ・「掛工へ入学してよかった」と答える3年生90%以上。 ・生徒が参加した学校改善プロジェクトの継続実施。 ・各工学科で一つ以上の外部機関等と連携した課題研究、実習の設定。 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究やものづくり大会など校外外でしっかり取り組んでいると思います。オリーブの搾取機の製作を茶業機械メーカーと協力して取り組まれたことに感謝したことを覚えています。このような取組を更に進めていただき、遠州の中小企業を応援していただきたいです。 ・数値目標が高いと思う。7割くらいでちょうど良いと思う。 ・魅力あるものづくりにする為に継続して我々企業との活動が出来る事を期待します。 ・中東遠で唯一の工業高校らしい活躍を今後も期待しています。

		<ul style="list-style-type: none"> ・1カ月(読書週間含む)に2冊以上の本を読んだ生徒50%以上。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1度、読書の時間を設定してはいかがでしょうか。 ・クラスで読書会など感想や意見を共有する機会があれば面白いと思う。
<p>「ものづくり」の魅力拡大に寄与する教育・広報啓発活動の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小、中学生が「ものづくり」を体験し魅力を感じる教育プログラムの開発と小・中学校、地域での実施。 ・講座や学校説明会等に参加した児童生徒及び保護者数1,000人以上。 		A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生が「ものづくり」を体験し魅力を感じてもらう取組は大変重要です。生徒にとっても良い経験となります。 ・非常に良い成果をあげている。 ・地域への活動をさらに充実・貢献して欲しい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座、説明会、巡回展示、広報活動の検証と実施。 ・新しいホームページの立ち上げと週あたり3回以上の更新。 ・公式Instagramの投稿発信300件以上。 		B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「掛工」のすばらしさを広く多くの人に知ってもらう、情報発信にさらに力を入れてほしいと思います。「報道機関」に情報提供しテレビ・新聞の活用に努めください。 ・「なんか楽しそう」「制服がかわいい」など噂やロコミが大切。 ・なぜ達成できなかったのか理由や原因が分かると良い。 ・対象を明確にする必要性あり。 ・Instagramの更なる活用を期待します
<p>生徒・教職員が安全・安心に授業や諸活動に取り組むことができ、地域や保護者から信頼される学校の教育環境整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「校内に悩みを話せる教員や仲間がいる」と答える生徒75%以上。 ・学校全体で1日あたりの欠席6.0人以下、遅刻2.0人以下、早退1.0人以下。 ・支持的・支援的な生徒指導に対する研修の実施。 ・「学校は感染症対策等に配慮して教育活動を行っている」と答える生徒100%。 		B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動を通してなど、仲の良い仲間づくりに取り組んでほしいと思います。 ・「悩みを話せる教員や仲間がいる」と回答する生徒が75%以上だったのは立派。欠席者は感染症の関係上、難しい目標だったと思う。結果は良好である。 ・欠席が2、3日続いたら電話等で連絡いただくと子供も意識が変わると思う。

様式第5号

		<ul style="list-style-type: none"> ・「校内が安全に整備、整頓されている」と答える生徒・保護者 80%以上。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレが汚いとの意見がありますが、安全を脅かす建物等があれば、優先的な整備が必要です。
		<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の年3回以上実施。 ・日常の振り返りに基づく安全教育の毎月実施。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の力を地域の防災活動に活かしてほしいと思います。 ・安全教育の毎日実施の具体例を示してほしい。
	<p>学科・教科・分掌を超えた業務の平準化・効率化の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人当たりの年間時間外在校時間 20%削減。 ・各学科・教科・分掌で業務の平準化又は効率化に向けた提案1件以上。 ・一人当たりの年間の休暇取得時間 100時間以上。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの導入により、業務の効率化が進んだと思います。教育は効率化だけで評価すべきではないと思います。「フェイストウフェイス」で愛情をもって生徒に接してほしい。 ・教職員への負担については、更に低減を目指してほしい。